

少数台数のリコール届出の公表について（平成26年8月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成26年8月は11件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：井関農機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
8月1日	3412	車名：キセキ 型式：WDP-H161 通称名：HJ5098他	83	平成26年2月7日～ 平成26年7月8日
不具合の部位等	ラジエーター冷却用ファンベルトにおいて、作業指示が不適切なため、テンションアームの組み付け方向を逆に組み付けられたものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ファンベルトが損傷したり、テンションプーリから外れ、最悪の場合、エンジンがオーバーヒートに至るおそれがある。			

2. 届出者：株式会社アトランティックカーズ
新東洋企業株式会社
八光エルアール株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
8月7日	外2077	車名：アストンマーティン 型式：不明 通称名：ラピードS他	58	平成25年6月18日～ 平成26年7月1日
不具合の部位等	トランスミッションにおいて、トランスミッション制御スイッチの内部基板の設計が不適切なため、車両振動等により内部ショートが発生するおそれがある。その場合、トランスミッションがニュートラルに入るため、車両の運行を維持するための駆動力が伝達されず、惰性走行状態となる。なお、不具合が発生しても、車両を安全に停車させるための制動及び操舵にかかわる機能は保持される。			

3. 届出者：スズキ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
8月8日	3415	車名：スズキ 型式：DBA-MA15S 通称名：ソリオ	1	平成25年9月5日
不具合の部位等	フロントサスペンションを車体フレームに固定しているボルトの締結力が不足しているため、当該ボルトが緩み、異音が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると当該ボルトが脱落し、最悪の場合、かじ取り性能が低下するおそれがある。			

4. 届出者：キャタピラー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
8月 8日	外2073	車 名：キャタピラー 型 式：KDN-JRS 通称名：907H2	81	平成25年 7月17日～ 平成26年 5月29日
不具合の部位等	フロントアクスルインプットシャフトに装着されるパーキングブレーキディスクの構造が不適切なため、スプライン部に土砂などが侵入し、スプラインが軸方向に摺動することでスプラインを磨耗させることがある。そのため、そのまま使用を続けると、スプラインの山が磨耗してフロントアクスルへの動力が伝達できないおそれがあるとともに、パーキングブレーキが効かなくなるおそれがある。			

5. 届出者：コベルコクレーン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
8月11日	3411	車 名：コベルコ 型 式：UDS-EE04 通称名：RK250-8	53	平成25年 6月 5日～ 平成26年 7月11日
不具合の部位等	動力伝達装置の油圧配管（走行用）において、 ①油圧配管を固定しているブラケットの形状が不適切なため、油圧脈動による応力の繰り返しを受けることで当該ブラケットに亀裂を生じ、当該亀裂部から異音が生ずる場合がある。そのため、そのまま使用を続けると、走行用油圧配管が損傷して作動油が漏れるおそれがある。 ②油圧配管を固定している取付ボルトの緩み防止が十分でなく、油圧脈動による振動でボルトの緩みや脱落が生じるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、走行用油圧配管が損傷して作動油が漏れるおそれがある。			

6. 届出者：株式会社ホワイトハウス

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
8月14日	外2043	車 名：インディアン 型 式：5VP1 他 通称名：Chief Vintage 他	68	平成21年12月30日～ 平成23年12月10日
不具合の部位等	リアホイールにおいて、リム部の製造が不適切なため、厚さが不足しているものがある。そのため、使用過程において、亀裂が発生してリアタイヤの空気が漏れて走行安定性を損なうおそれがある。			

7. 届出者：株式会社KCM

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
8月20日	3413	車 名：川崎 型 式：JDS-90C5 通称名：90ZV-2	14	平成24年 2月 3日～ 平成25年 2月28日
不具合の部位等	原動機回転センサーにおいて、センサー先端部の構造が不適切なため、潤滑油がセンサー内部に浸入し破損する場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、原動機が停止し走行不能になるおそれがある。			

8. 届出者：株式会社タダノ

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
8月20日	外2084	車 名：FAUN 型 式：不明 通称名：RTF360G-6 他	39	平成21年 2月 5日～ 平成24年 8月 31日
不具合の部位等		<p>かじ取装置等の油圧回路において、作動油フィルタの汚れが許容範囲を超え警告灯が点灯した状態で、かつ、定期交換時期を過ぎた低圧ホースを使用すると、低圧ホース劣化が進行する。そのため、そのままの状態で使用を続けると、低圧ホースに亀裂が生じて作動油が流出し、他の交通の安全を妨げるおそれがある。</p>		

9. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
8月21日	外2078	車 名：メルセデス・ベンツ 型 式：RBA-231457 他 通称名：SL350 他	8	平成26年 5月 8日～ 平成26年 5月 21日
不具合の部位等		<p>助手席エアバッグにおいて、構成部品の製造が不適切なものがある。そのため、衝突時にエアバッグが展開した際に構成部品がエアバッグハウジングから外れ、最悪の場合、外れた構成部品が乗員に当たるおそれがある。</p>		

※ 平成26年8月21日 公表済み

10. 届出者：株式会社加藤製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
8月22日	3416	車 名：カトウ 型 式：UDS-KRC011 通称名：カトウKR-25H型ラフター	2	平成26年 6月 24日～ 平成26年 6月 27日
不具合の部位等		<p>ブレーキキャリパー取付ボルトの熱処理が不適切なため、取付ボルトの強度が不足している。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ボルトが折損して制動力が低下するおそれがある。</p>		

11. 届出者：UDトラックス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
8月26日	3420	車 名：ニッサンディーゼル 他 型 式：PDG-RM820GAN 他 通称名：スペースランナー 他	49	平成20年11月14日～ 平成22年 7月 16日
不具合の部位等		<p>音声合成式 扉開閉予告装置を装着した大・中型路線バスにおいて、当該装置の制御プログラムが不適切なため、乗降時に運転者が中扉スイッチを「開」にした際、扉が開くことを知らせる警報が作動しないおそれがある。</p>		

※ 平成26年8月26日 公表済み

【参考】

●平成26年8月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	16件 (+3)	10件 (+4)	6件 (-1)
輸入車	12件 (+8)	7件 (+4)	5件 (+4)
計	28件 (+11)	17件 (+8)	11件 (+3)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成26年度)

<速報値>

月	届出件数			対象台数		
	国産車	輸入車	合計	国産車	輸入車	合計
4	20(+2)	11(+4)	31(+6)	1,147,842(+123,920)	39,200(+31,700)	1,187,042(+155,620)
5	10(+2)	11(-2)	21(±0)	58,716(-211,951)	5,374(-113,316)	64,090(-325,267)
6	14(-9)	17(+8)	31(-1)	2,118,282(+1,412,644)	47,959(+43,627)	2,166,241(+1,456,271)
7	29(+13)	13(+3)	42(+16)	361,914(-726,397)	33,475(+18,818)	395,389(-707,579)
8	16(+3)	12(+8)	28(+11)	41,804(+36,467)	20,013(+19,103)	61,817(+55,570)
小計	89(+11)	64(+21)	153(+32)	3,728,558(+634,683)	146,021(-68)	3,874,579(+634,615)

※ () 内は、対前年比